

―昨年を振り返ると。

新型コロナウイルスの影響はワクチン接種が進み、行動制限や外出自粛が緩和されたことで限定的になってきました。出荷数量ベースではコロナ禍以前の数字に戻りつつあります。一方で不安定な国際情勢に伴う原料価格の高騰、急激な円安の進行で輸入価格が上昇しており、新たな課題も生まれた年でした。

―デジタル化の進捗具合は。

子会社のアンセルで社交ダンスの衣表をネット販売するなど、少しずつ力



株式会社 吉岡



吉岡源一郎氏

代表取締役

を入れています。社交ダンスを扱った人気漫画の影響で、若者にも需要が高まればと思います。

―参画されている「岐阜シャツプロジェクト」の動きは。

社員のアイデアから、リサイクルウールを使ったキャンプ用のブランケットをクラウドファンディング向けに作りました。燃えにくい構造のため、包まりながら、たき火にあたることで

ます。またサッカーJ3・FC岐阜の

SDGs念頭に新たな事業を

新商品の発売を計画しています。プロ選手へ、新シーズンの応援と期待をロジエクトメンバーはカワボウ繊維、柏屋商事、カンダまちおこしと当社です。1月の新体制発表の場でお披露目す。繊維業界でも大きな課題のSDGsの取り組みの一つとして、生産口

―新たな業務については。

また、環境への負担が少ない生分解性プラスチック製のビニール袋を開発しました。燃やしても通常のビニール袋よりCO₂の排出量が少ないという特徴もあります。今後も環境を意識した新たな商品を提案してまいります。